



座間市

PRESS RELEASE

プレスリリース

令和6年2月28日

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の地下水・表流水 調査結果および今後の対応

このことについて、別紙の通り情報提供します。

問い合わせ先 暮らし安全部 生活安全課 環境保全係

TEL 046 (252) 8214 FAX 046 (257) 7743



有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の地下水・表流水調査結果および今後の対応

令和 3 年度に神奈川県が実施した有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の調査にて、市内の地下水で、環境省が定める暫定目標値を超過する結果となったことを受け、市では令和 4 年度から地下水・表流水の調査を実施しています。

令和 6 年 1 月に地下水および表流水の調査を実施した結果は次の通りです。

1 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) およびペルフルオロオクタン酸(PFOA)

有機フッ素化合物の一つであるPFOSおよびPFOAは、独特の性質（水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しないなど）を持ち、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤などに用いられてきた化学物質です。しかし、環境中で分解されにくく、生物への蓄積性などもあることから、現在、国内外において製造、使用などが規制されています。このことから、環境省はPFOSおよびPFOAを要監視項目に位置づけ、公共用水域および地下水における暫定目標値を定めました。

2 調査内容および結果（詳細は別紙参照）

(1)地下水

市内の地下水における有機フッ素化合物の分布状況を把握するため、令和 6 年 1 月 2 9 日（月）に市内 6 地点の井戸において今年度 2 回目の調査を行った結果、1 地点で暫定目標値の超過がありました。

※上記 6 地点は令和 5 年 9 月 1 2 日（火）に調査を行った地点と同一地点です。

(2)表流水

表流水における有機フッ素化合物の分布状況を把握するため、令和 6 年 1 月 2 5 日（木）に 2 地点で調査を行った結果、暫定目標値の超過は見られませんでした。

3 今後の対応

地下水の調査により、暫定目標値の超過が見られた地域においては飲用井戸の利用を控えるよう助言を行っています。今後も引き続きモニタリングを行います。

(1) 令和5年度（令和6年1月29日採水）

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）地下水調査結果

No.	調査地点	採水区分	PFOS [ng/L]	PFOA [ng/L]	PFOS・PFOA 合算値 [ng/L] ※【】内はR5.9月の 調査結果
			合計	合計	
1	栗原	井戸	17	10	27【23】
2	小松原	井戸	22	4.7	27【20】
3	広野台	井戸	14	8.0	22【20】
4	西栗原	井戸	49	8.5	58【54】
5	座間	井戸	13	5.2	18【20】
6	東原	井戸	16	5.2	22【21】

(2) 令和5年度（令和6年1月25日採水）

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）表流水調査結果

No.	調査地点	採水区分	PFOS [ng/L]	PFOA [ng/L]	PFOS・PFOAの合 計値 (ng/L)
			合計	合計	
1	鳩川下流 (見取橋)	河川	23	5.7	29
2	目久尻川下流 (寒川橋)	河川	19	8.4	27

※有効桁数2桁で処理しているため、合計値は必ずしもPFOSおよびPFOAの和と一致しません。

※暫定目標値はPFOSおよびPFOAの合計値として50ng/Lとされています。

※過去に実施した有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の調査結果については、市ホームページでお知らせしています。

<https://www.city.zama.kanagawa.jp/kurashi/kankyo/mizu/1006894.html>